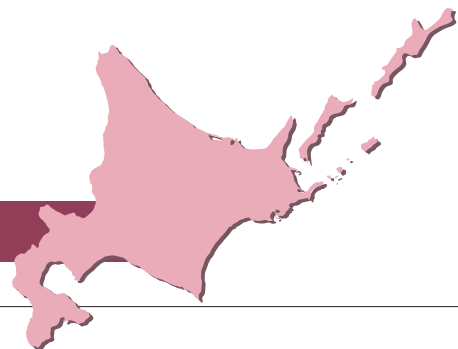


2月の道内景況

情報連絡員レポート

主要DIが大きく悪化 新型コロナウイルスの影響か

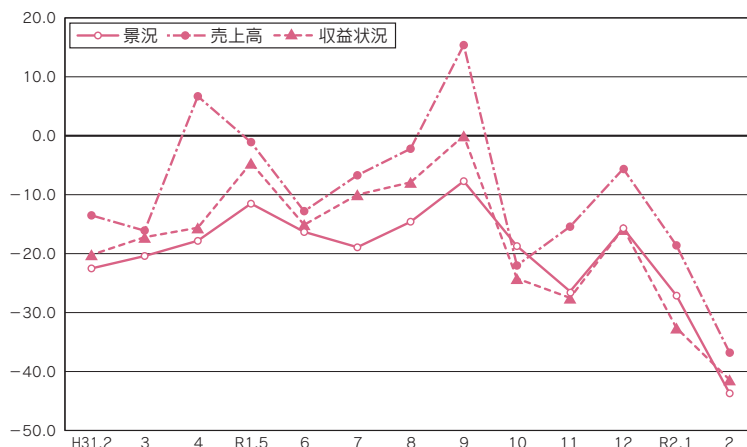


概況

主要DI値の推移では、「景況」「売上高」「収益状況」のすべてで大幅な落ち込みが見られた。

業種別に見た前月との比較では、製造業・非製造業ともに「雇用人員」を除いた全項目で前月よりも大きく悪化し、経済活動の停滞が懸念される。

主要DIの推移



景況天気図 (前年同月比)

	全業種			製造業			非製造業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
業界の景況	△25.6	△43.7	△18.1 ↓	△34.4	△42.4	△8.0 ↓	△20.4	△44.4	△24.1 ↓
売上高	△18.6	△36.8	△18.2 ↓	△18.8	△33.3	△14.6 ↓	△18.5	△38.9	△20.4 ↓
収益状況	△32.6	△41.4	△8.8 ↓	△28.1	△33.3	△5.2 ↓	△35.2	△46.3	△11.1 ↓
販売価格	5.8	△1.1	△7.0 ↓	6.3	0.0	△6.3 ↓	5.6	△1.9	△7.4 ↓
取引条件	△3.5	△9.2	△5.7 ↓	0.0	△3.0	△3.0 ↓	△5.6	△13.0	△7.4 ↓
資金繰り	△9.3	△20.7	△11.4 ↓	△9.4	△18.2	△8.8 ↓	△9.3	△22.2	△13.0 ↓
雇用人員	△17.4	△16.1	1.3 ↑	△15.6	△12.1	3.5 ↑	△18.5	△18.5	0.0 →

(凡例)

30 以上

10 ~ 29

9 ~ △ 10

△ 11 ~ △ 29

△ 30 以下



天気図の見方 各景況項目について調査月と前年同月を比較して、「増加」(または「好転」)したという回答(構成比)から「減少」(または「悪化」)という回答(構成比)を差し引いた値(D・I)をもとに作成。その基準は上記のとおりです。

製造業

- ・新型コロナウイルスによる観光客、地元客の激減を受けて売上が減少している。
(水産食料品/全道)
- ・オホーツク海が流氷により結氷状態であるため、水揚げがないことから、組合員の加工場はホタテ主体の稼働となっている。
(水産食料品/網走)
- ・新型コロナウイルスの影響で中国からの観光客が激減したため、イベントに向けて準備していた大量の食材が廃棄となった。在庫も増加し、収益は大幅に悪化。
(めん類/全道)
- ・1月単月の出荷量は味噌・醤油とも前年比増。道内の1月～12月の累計出荷量は味噌が前年比減、醤油は前年比増。味噌は販売価格の低下が見られる一方、原料である国産米、アメリカ米の購入価格が上昇しており、以前として経営環境は厳しい。
(味噌・醤油/全道)
- ・非常事態宣言により人・物・金の動きが急速に停滞した結果、特に宿泊施設、観光施設、飲食店への売上が大きく落ち込んだ。在庫も増加している。
(飲料/全道)
- ・製材市況は、カラマツは保合～強保合。エゾ・トドマツは保合。原木市況は、カラマツは保合。エゾ・トドマツは保合。カラマツ原木は、地域によりパラツキがあり、慢性的に不足している。製材の受注は、梱包材、パレットの荷動きが悪い状況が続く。エゾ・トドマツ原木の入荷は概ね順調だが、トラックの手配が出来ない地域もある。小径材は依然として不足。原木価格が高止まりしている中で、製品受注に陰りが出てきており価格転嫁が難しくなっている。
(一般製材/全道)
- ・米中貿易摩擦と新型コロナウイルスの影響で受注量の減少が顕著になっている。
(一般製材/札幌)

非製造業（卸・小売・商店街・サービス業）

- ・新型コロナウイルスの影響でマスクや除菌用品、トイレットペーパー等紙類で異常な受注増加となった。靴履物では中国での生産品入荷が滞り、在庫が減少するとともに売上が減少した。組合の展示場・貸会議室はキャンセルが相次ぎ大幅な減収となっている。全般的に消費者の動きは停滞しており、インバウンドも激減していることから、末端の小売り・サービス店舗が持ちこたえられない不安材料が大きい。通販等の増加によりトラックが不足し物流にも影響が出ている。
(各種商品/札幌)
- ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校を受け、小さい子供がいる従業員の欠勤による人員のやり繰りや今後の雇用に不安がある。中国の現地製造製品が入荷しない状況が続いており、工事に遅れが生じている。
(各種商品/帯広)
- ・新型コロナウイルスによる内食の強まりを受けてスーパーとの取引が多い企業は売上増となったが、観光レートの取引が多い企業では売上が大幅に減少した。
(菓子/全道)
- ・新型コロナウイルス拡大に伴うメーカービルダーの工場生産停止の影響による物不足の影響を軽減して、一部の大型量販電器店が商品の買い占め始めている。
(電気資材/全道)
- ・新型コロナウイルスの影響で来客数、売上ともに低下。消毒液・マスク・ウエットティッシュ等欠品が続いている。飲食店では宴会等がキャンセルになっている。
(各種商品/釧路)
- ・2月中旬まではキャッシュレス・消費者還元事業の効果で、登録加盟店の売上が伸びたことに加え、家電量販店の売上也順調であったが、新型コロナウイルスの影響から最終週の24日を境に急激に売上が減少した。最終的には開年で1日多かった事もあり昨年比で増加となった。キャッシング売上は減少傾向が続く、ショッピングの取引条件の低減もあって収益は減少している。
(各種商品/旭川)
- ・新型コロナウイルスの影響により、百貨店の売上は減少、ドラッグストアやスーパーマーケットなどでは増加傾向。
(各種商品/札幌)
- ・食料品買い出しのためか2月の特売日は1月より人出が多かった。
(各種商品/小樽)
- ・取扱高は前年を上回ったものの地域商店街は苦戦が続いている。新型コロナウイルスの影響は大きく、飲食店を含むサービス業はかなり厳しい。
(各種商品/苫小牧)
- ・新型コロナウイルスの件で売上・収益とも激減した。
(各種商品/帯広)
- ・2月初旬に開催したファミリー向けイベントは、当初新型コロナウイルスの影響で人出が少なくなるのではないかと想定していたが、本格的な流行前だったこともあり、当日はイベント会場のみならず朝市エリア内にも子供連れの家族層を中心に多くの市民客による周遊効果が見受けられ、盛況となった。
(各種商品/函館)
- ・新型コロナウイルスの影響により、売上は約3分の1減少、利益については固定費がさほど下がらず純利益が悪化した。ホテル、宴会のキャンセルが相次いでおり、今後各社の経営はかなり苦しくなると思われる。
(各種食料品/札幌)
- ・売上高は対前年同月比83.9%の実績。新型コロナウイルスの影響で客足が鈍く、収益状況も悪化。暖冬により野菜は全般的に豊作基調だが価格は下落して

非製造業（建設・運輸業）

- ・今の時期は各所、新年度の工事に向けた検討段階に入っており、いかに情報を入手し、営業活動に加えて人員管理を始めとする施工体制の準備をししていくのが重要である。新型コロナウイルスの影響で経済が止まり、発注も遅くなる事が予測できるため、それに対する準備も必要になると思われる。
(電気工事/全道)
- ・新型コロナウイルス拡大の長期化による影響が心配される。
(左官工事/全道)
- ・小雪に加えて2月中旬にはマイナス30度の凍れにより水道管凍結が頻発したことで例年より修繕依頼が殺到した。
(管工事/名寄)
- ・一時的な降雪で除排雪業者は動いたが、全般的には新型コロナウイルスの広がりとともに荷物の動きが減少しているため厳しい状況である。世界経済の停滞により原油価格が下がったことで、燃料価格も下がり、経費は減少している。
(一般貨物自動車運送/小樽)

- ・2月の生コン出荷量は166千m³で、前月比は11.0%減、前年同月比は8.1%減。
(窯業・土石製品製造業/全道・生コン)
- ・新型コロナウイルスの影響で建築業者からの見積依頼が激減している。住宅設備（キッチン、洗面、便器等）の部品が中国から入荷せず、納期未定で困っている。
(窯業・土石製品製造業/全道・ガラス)
- ・材料、副資材のまとめ買いが一部発生した。景気停滞で雇用は持ち直している。
(鉄鉄鋳物/全道)
- ・世界的な船腹量過剰と供給過剰状態が続く、船価相場は暴落している。中国、韓国造船業では低船価での受注が繰り広げられており、国内造船界は依然として厳しい状況が続くと予想される。今期の造船向け鋼材価格は現状維持と推察される。
(金属製品/函館)
- ・消費増税以降、全体的に低調となっている。
(金属機械工作/札幌)
- ・人手不足感が依然として続いている。暖冬の影響で気温が高いため、土壌が凍らず、土木関係の工期が早まっている。
(金属機械工作/全道)
- ・新型コロナウイルスの影響により、展示会、イベント等が中止となり、チラシを作成している印刷業者は売上ダウンとなっている。住宅建築においては中国からの部品がストップした影響により、来月以降予定していた引き渡しが出来ない状況。
(金属機械工作/札幌)
- ・新型コロナウイルスにより運転資金調達に苦慮する企業が増えるかと推察される。
(家具/旭川)

- ・(野菜・果実/札幌)
- ・2月は厳しい冷え込みもなく暖房用燃料の需要は前年並みにとどまった。車両用燃料は少雪だった昨年以上に降雪量が少なく、除排雪用車両の軽油の需要が大幅に減少したため、全体としては前年を下回る状況となった。
(燃料小売業/稚内)
- ・各組合員、前月同様、消費増税や暖冬等の影響を受けて苦しい状況が続いているなか、新型コロナウイルスの影響をまともに受け切実に厳しいとの声が多かった。
(各種商品/釧路)
- ・12月の卸値は値下げ改定で推移。小売店の販売価格も下方修正で推移した。収支状況では量販店の安値攻勢により一部厳しい利益口銭の圧縮での推移となった。
(燃料小売業/旭川)
- ・2月の降雪は除雪機の売上に反映されないため、収益状況が悪化したという店が多い。自転車店にとって3月が正念場だが、先行きが読めず不安である。
(自転車・自動車/全道)
- ・新型コロナウイルスの影響で中国人観光客はほぼ来なくなり、国内ツアーも激減、市民の来客も減った。安心して買物が出来るよう、従業員のマスク・手洗い等を徹底し、出入口にはアルコール消毒を設置して対応している。
(鮮魚/釧路)
- ・組合全体は前年比101.9%、食品スーパー及びホームセンターは前年比104.4%、それ以外の一般店は前年比93.1%。2月中旬からスーパーなどで新型コロナウイルス関連情報による買い回りが起きた影響を受け一般店では来店客が激減した。
(各種商品/芦別)
- ・新型コロナウイルスの影響によって、商品メーカーの中国での生産が停滞し欠品が多く出ている。住宅設備関係で影響が大きい。展示会等も中止になっている。
(電気機械器具/全道)
- ・消費者の節約志向を反映した買い控え傾向は変わらず、末端石油販売業者にあつては値上げに踏み切れない等厳しい状況が続いている。
(燃料/全道)
- ・小売等は減少している。
(中古自動車/札幌)
- ・藤丸百貨店の1月売上高は、5億709万円（前年同月比5.9%減）と消費増税の反動が続いている。2月共通駐車券の利用は前年比89.7%、買物共通バス券の利用は前年比で95.9%。新型コロナウイルスによる営業時間の短縮（百貨店、飲食店）やキャンセル（宿泊・宴会・会合・懇親会）などを懸念している。
(帯広市/帯広)
- ・新型コロナウイルスの影響により来街客が激減している。
(網走市/網走)
- ・新型コロナウイルス拡大に伴う自粛要請を受けて休止又は営業時間の短縮等をしている施設もある。利用者も減少しているのが実情。
(公衆浴場/全道)
- ・現在直面している新型コロナウイルス感染拡大のような不測の事態に陥った際でも、受注したシステム開発案件を確実に処理するために、道内の中小IT企業が、IT技術を駆使して企業活動を休止することなく、どこでも安全に継続して働けるデジタル環境の必要性を再認識して、改めてBCPの整備を掲げる経営者が散見されている。感染拡大の抑制策としてテレワークを導入する道内企業も増加。人手不足の解消や生産性の向上に貢献でき、働き方改革を促進する施策としても期待される。
(ソフトウェア/全道)
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け国内全域からのキャンセルが多かった。
(旅館/音更)

- ・新型コロナウイルスの影響によるイベント中止、無観客試合、週末外出自粛、公共施設の閉館などで各種配送停止・中止・業務打ち切りが続発している。一方ではネットスーパー利用が大幅に増えパンク状態となり、車が足りない状況となることもあるが、失われた売上をカバーするほどのものではない。
(一般貨物自動車運送/全道)
- ・青果物、一般カーゴ、域内輸送いづれも先月に引き続き市況が悪く、荷動きが鈍化している。新型コロナウイルスの影響で輸入コンテナ貨物は減少傾向にある。
(一般貨物自動車運送/石狩)
- ・売上高は前年同月比3.1%増加、乗務員数は前年同月比4.7%の減少。1月分チケット取扱高は前年同月比4.0%増加。
(一般乗用旅客/旭川)
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い荷動きが鈍化している。今後は更なる減収が懸念される。
(一般乗用旅客/苫小牧)